

学校名	学年	教科
川越中学校	2年	国語

1. 学習のねらい等

学習のねらい	○目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を育てる。 ○目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。 ○目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を通して生活に役立てようとする態度を育てる。
使用教材	教科書・国語便覧・漢字学習ノート・文法ワーク・国語ワークなど

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①国語への関心・意欲・態度	・授業の用意を整え、積極的に学習活動に取り組める。 ・予習や課題に取り組み、提出物は期限を守って出せる。 ・ノートをわかりやすくまとめられる。	・学習活動への参加の仕方や態度 ・課題の提出状況と内容 ・ノートやワークなどの作成状況 ・定期テストや評価テスト
②話す・聞く	・話し手のものの見方や考え方をしっかり聞き、自分の考えを広げたり深めたりできる。 ・自分の意見を、適切な声の大きさ、速さ、態度で相手に伝えられる。 ・文章の内容や特徴をとらえて、朗読することができる。	・課題の提出状況と内容 ・定期テストや評価テスト ・リスニング、朗読テスト ・スピーチ ・授業中の様子
③書く	・課題に対する自分の立場や、伝えたい事柄がはっきり書ける。 ・文章の内容が相手に効果的に伝わるよう、表現を工夫して書ける。	・課題や作品の提出状況と内容 ・ノートや課題プリントなどの作成 ・定期テストや評価テスト ・作文
④読む	・文章の構成や展開、説明や描写などに注意して読むことができる。 ・文中の効果的な表現に注目し、自分の言葉づかいに役立てている。 ・文章の内容を理解し、人間、社会、自然などについて考え、自分の意見が持てる。	・課題の提出状況と内容 ・ノートやワークなどの作成状況 ・定期テストや評価テスト
⑤言語についての知識・理解・技能	・漢字の読み書きが正確にでき、言葉のきまりが理解できる。 ・文字の字形を整え、大きさ、配列に気をつけて正しく書くことができる。	・課題や作品の提出状況と内容 ・ノートや課題プリントなどの作成状況と内容 ・漢字テスト ・書写（毛筆・硬筆）

3. 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
2 学 年 1 学 期	広がる学びへ 「見えないだけ」「アイスプラネット」「枕草子」 ・言語（類義語、多義語、対義語） 視点を定めて 「生物が記録する科学」 漢字（熟語） 豊かな言葉 「新しい短歌のために」 ・文法 書写	①好きな言葉や表現を見つけ、声に出して読むことができる。 ④情景描写に着目し、人物の気持ちを読み取ることができる。 ⑤対義語・類義語の意味や用法を理解している。 ①進んで聞き取り活動や話し合い活動に参加し、正確に聞き取る力や聞き分ける力をつけようとしている。 ②必要な情報を的確に聞き取り、要点をとらえることができる。 ③事実と考察の関係に着目して論理の展開を読み取り、自然や社会についての自分の考えを書くことができる。 ⑤自立語と付属語の意味や用法の違い、活用の有無について理解している。 ④短歌のもつリズムに親しみ、表現の美しさを読み味わうことができる。 ⑤表現技法を意識する。 ①本を読む楽しさを知り、さまざまな作品や文章を読もうとしている。 ⑤漢字の構成を理解している ⑤熟語の成り立ちと用法を理解している。
2 学 年 2 学 期	きずなを読む 「盆土産」 「字のない葉書」 「モアイは語る」 言葉（敬語） いにしへの心を訪ねる 「平家物語」 「扇の的」 「仁和寺にある法師」 「漢詩の風景」 漢字（同じ音・訓の漢字） 論理を捉えて 「君は「最後の晩餐」を知っているか」 ・文法 書写	④文章の構成や展開について根拠を明確にして自分の考えをまとめることができる。 ①登場人物それぞれの人柄や思いに心を寄せて読もうとしている。 ④場面描写や表現に沿って登場人物の人柄や心情をとらえ、まとめることができる。 ②目的に応じて情報を収集・選択し、話の構成や語句・表現を工夫して効果的に伝えることができる。 ①古典特有の表現を声に出して読み、言葉の響きや調子を楽しもうとしている。 ④展開に即して、人物のおかれていた状況やどのような人間関係の中で生きていたのかを読み取ることができる。 ③昔の人のものの見方や考え方にふれ、自分の意見をまとめることができる。 ④事実や根拠を確かめながら、筆者の意見を読み取り、自分の考えを広げ深めることができる。 ⑤自立語の位置や語形、働きを理解し、品詞に分類できる。 ⑤行書の書法を知り、美しさを味わいながら書くことができる。 ①本を読む楽しさを知り、さまざまな作品や文章を読もうとしている。
2 学 年 3 学 期	自分を見つめる 「走れメロス」 「表現のしかたを工夫して書こう」 「科学はあなたの中にある」 漢字（送り仮名） 文法 書写	①作品世界や登場人物を自分なりにとらえ、進んで読もうとしている。 ④語句の使い方や、表現、文体の特徴に注意して読み、人物像の変化をとらえることができる。 ③視点を定めて話題を整理し、表現や文体を工夫して書くことができる。 ④作品を様々な視点からとらえ、理解を深めることができる。 ⑤用言の活用について理解している。 ⑤送り仮名の付け方の原則を理解している。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習	学 校	・授業に集中して取り組み、人の意見はしっかり聞き、自分の意見を進んで発表しましょう。 ・板書はていねいにノートにまとめ、配られたプリント類は保管して見直しましょう。 ・図書室を利用するとともに、朝の読書に落ち着いて取り組みましょう。
--------	--------	--

方法	家庭 ・教科書を繰り返し、音読しましょう。 ・わからない漢字や語句は、こまめに国語辞典で調べましょう。 ・漢字練習ノートを使って、漢字の予習・復習に取り組みましょう。 ・本や新聞などを積極的に読みましょう。 ・いろんな表現を使った文章を書きましょう。
----	---